



News Letter～高速道路の裏側教えます～

ニュースレター 2018年 夏号 目次

I.特集：お盆の渋滞予測

II.休日割引適用日変更のお知らせ

III.「劇場版コード・ブルー」の舞台！海ほたるの防災施設

IV.夏の高速道路ドライブ 増加する交通事故の傾向と安全対策

I.お盆の渋滞予測

～2018年 お盆の渋滞対策ポイントを紹介！～

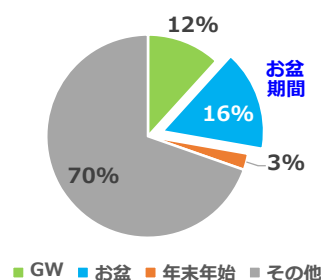
5代目渋滞予報士の外山さんに渋滞の特徴と渋滞時の走り方についてお話を伺いました。

お盆の渋滞 特徴と狙い目を教えます！

お盆の渋滞はゴールデンウィーク（GW）とは特徴が異なります。GWは、主にレジャー・観光目的のため、短・中距離移動が多くなり、主に都心近郊で長い渋滞が発生する傾向にあります。一方、お盆は主に帰省目的のため、中・長距離移動が多くなり、地方部においても長い渋滞が発生する特徴があります。

お盆期間は1年間で最も渋滞が発生する期間です。渋滞予測を参考に上手に渋滞を回避しましょう。

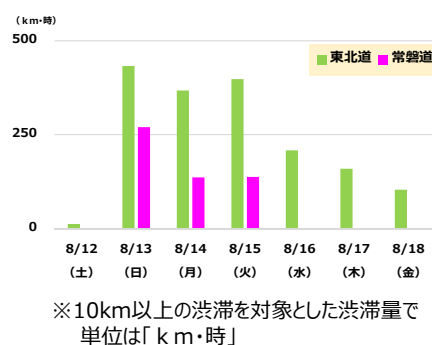
渋滞の期間別内訳（2017年）



東北方面からのUターンは常磐道が狙い目！？

東北方面から東京への移動には、東北道と常磐道の2つのルートがあります。お盆の後半期間は、東北道が渋滞しているのに対して、常磐道は比較的空いているという状況が起こります。これは例年の傾向で、昨年のお盆も8/16以降は東北道ではUターンによる渋滞が発生していたものの常磐道では渋滞が発生しませんでした。今年も同様の傾向になるとみられます。

昨年お盆の上り線の渋滞



今年のお盆期間の渋滞予測は近日中に発表いたします。詳細は記者発表およびニュースリリースにてお知らせいたします！



<ご取材可能担当者>

お盆の渋滞発表に合わせて、渋滞予報士のインタビューが可能です。渋滞の原因や回避のポイントなどご説明します。

東日本高速道路株式会社 関東支社
5代目 渋滞予報士

外山 敬祐（とやま けいすけ）

渋滞対策は、ご利用いただくお客さまとの掛け算です
ご理解・ご協力をお願いいたします

【報道関係者様のお問い合わせ先】

「NEXCO東日本関東支社」PR事務局（株式会社アンティル） 担当：小幡・宮崎
TEL:03-5572-6063 FAX:03-6685-5265 E-mail: e-nexco_PR@vectorinc.co.jp



News Letter～高速道路の裏側教えます～

渋滞予報士からの処方箋・渋滞時の走り方 お盆は“車間2秒”で 事故と渋滞 W予防！

◎これからは車間は時間で確認する時代です！

車両間隔を距離ではなく、「時間」で計る方法についてご紹介します。標識柱や照明柱など運転手が定めた目印を、前方車両が通過してから自分の車両が通過するまでの時間を計り、確認します。日本ではまだ馴染みがありませんが、欧米諸国では一般的な安全確認の方法です。進行速度によって“2秒”のカウント数を変化させる必要はなく、車間確認標識や道路マーキング等のない場所においても実施できるメリットがあります。

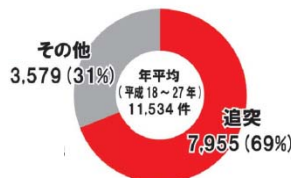


◎高速道路が混雑している時は、前の車に「つかず・離れず」が大切です！



※大型車等においては車間時間3秒以上をとってください
※空いているときは約4秒以上の十分な車間時間をとってください

高速道路上で
最も多い事故は
「追突事故」です！



※平成18～27年における年平均事故件数
出典）平成27年における交通事故の発生状況
(2016年3月30日公表 /
交通統計（政府統計の総合窓口）より作成

効果① 事故予防

約2秒は、周りに合わせて走行している時、前の車に追突しないための車間時間です。割り込みの防止も期待できます。

効果② 渋滞予防

適度な車間がクッションの役割を果たし、後続車へブレーキが伝わるのを防ぎます。また、前の車と間隔を空けすぎないことで、通過できる車の台数が増えます。

Ⅱ.休日割引適用日変更のお知らせ

お盆の渋滞対策 交通量平準化を図るため8月11日（土）、12日（日）は休日割引が適用されません。

平成30年お盆期間の渋滞対策の一環として、**高速道路の交通量平準化**を図る新たな料金施策として休日割引の対象日の変更を試行的に実施いたします。

●概要

平成30年お盆期間は、8月11日（土・祝）と12日（日）に渋滞が多く発生すると予測しています。

これを踏まえ、新たな渋滞対策として、平成30年お盆期間の**休日割引の対象日**を、**8月11日（土・祝）と12日（日）から、比較的渋滞回数の少ない8月9日（木）と10日（金）に変更**します。

お客さまに、8月9日と10日のご利用（分散利用）をお願いすることで、お盆期間における高速道路の交通量を平準化することを目指します。



（参考）休日割引について

【目的】観光需要を喚起し、地域活性化を図るため、高速道路の有効活用を促進

【割引対象】ETCシステムにより、土日祝日に地方部の高速道路及び本四道路を通行する軽自動車等及び普通車が対象です。

【割引率】3割引（地方部）

休日割引適用日変更の詳細については、弊社HP内プレスリリースに紹介しております。

URL：https://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h30/0704/





News Letter～高速道路の裏側教えます～

Ⅲ.「劇場版コード・ブルー」の舞台！海ほたるの防災施設

2008年に放送され人気を博し、昨年までに3度TVシリーズが製作された「コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-」。7月27日（金）に公開される待望の劇場版の舞台は、「東京湾アクアライン・海ほたる」となります。映画のストーリーでは、成田空港と海ほたるで大規模災害が連続発生する設定となっており、2017年12月に海ほたるで撮影が行われました。

映画の舞台となった東京湾アクアライン・海ほたるでは実際に災害が発生した場合に備え、以下のような防災施設が設置されています。

トンネル内での避難や、緊急時の空や海からの救助も可能！

【トンネル内で災害発生時に！緊急避難口・緊急避難通路】

トンネル内で火災や事故が発生した際に避難するために、車道部の非常口から滑り台を降りて安全な緊急避難通路に避難することができます。

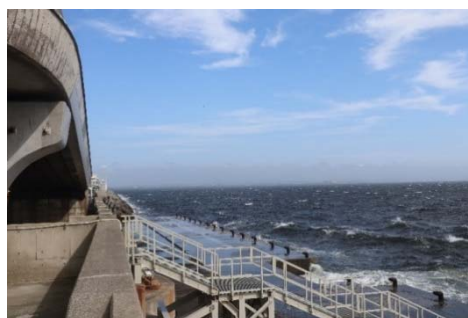
また、緊急避難通路は**気圧を上げて**いるので、火災等の煙が流入することはありません。通路の天井高は低いですが、この高さでも入れる**アクアライン専用の消防車**があります。

このような緊急避難通路につながる非常口がトンネル内に**300m間隔**で設置されており、上下線あわせて**66箇所**設置されています。



【空からの救助！ヘリポート】

緊急時にドクターヘリや救助用のヘリコプターが離着陸できるヘリポートです。（映画撮影スポット）



【海からの救助！非常用船舶接岸施設】

アクアラインが通行不可能となった場合の非常時に船舶が接岸できる施設です。（映画撮影スポット）

＜アクアライン防災施設 特別見学会のご取材ご案内＞

普段は立ち入ることができない映画でも使用された**アクアラインの防災施設**等を紹介する**特別見学会**を開催します。7月14日（土）には映画の撮影スポット巡りとアクアラインの防災施設等を紹介する特別見学会を、8月2日（木）には「2018サマーフェスティバルin海ほたる」において、**応募倍率約20倍**の人気コンテンツである『**アクアライン探検隊**』でアクアラインの裏側を見学できるツアーを実施します。両日とも**ドクターヘリ**が来島予定です。是非、特別見学会へご参加ください！

「劇場版コード・ブルー」×「海ほたる」夏休みスペシャルキャンペーンを展開！

映画の舞台となったことを記念し、「劇場版コード・ブルー」×東京湾アクアライン「海ほたる」夏休みスペシャルキャンペーンを7月14日（土）～8月31日（金）の期間で実施いたします。

夏休みの海ほたるにおいて映画撮影で使用した劇中衣装や海ほたるでの撮影時のメイキングフォトの展示などを行いますので、「劇場版コード・ブルー」の世界をお楽しみください！

【初日オープニングイベント（7/14）】

・「劇場版コード・ブルー」公開直前！西浦正記監督等が登壇する「撮影秘話トークショー」を開催

・**ドクターヘリが来島！**アクアラインの防災機能も紹介 など



©2018「劇場版コード・ブルー -ドクターヘリ緊急救命-」製作委員会

その他、キャンペーンの詳細情報はこちらから⇒





News Letter～高速道路の裏側教えます～

Ⅳ.夏の高速道路ドライブ 増加する交通事故の傾向と安全対策

夏休みの旅行やレジャー、帰省などで車での外出が増えるサマーシーズン。遊び疲れによる居眠り運転やわき見運転、季節的な解放感によるスピード超過などの交通事故のリスクが高まります。安全運転を心がけましょう！

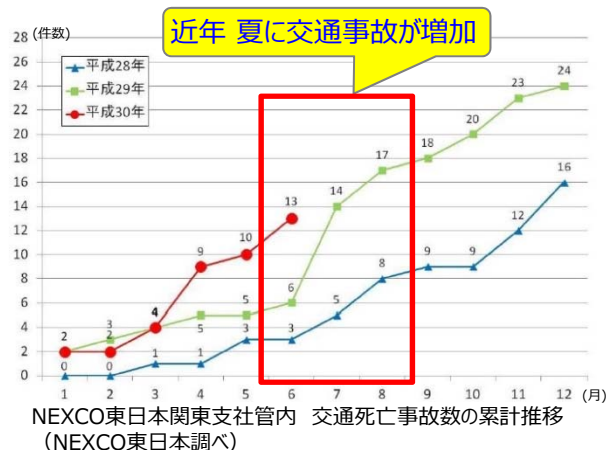
最近の高速道路における交通死亡事故等の傾向

平成30年の関東支社管内高速道路における死亡事故は6月24日時点で事故件数：13件、死亡者数：13名となっており、前年同日比 事故件数：+7件、死亡者数：+7名と**大幅に増加**しております。（NEXCO東日本調べ）

これらの事故の傾向として、

- ・前方の事故や故障車等の**発見の遅れ**による事故
 - ・**車両不具合**による本線上で停止したところ、**後続車に追突**されてしまった事故
- が挙げられます。

近年、夏の時期に交通事故が増加する傾向にあるため、今年も注意が必要です。



交通事故対策のポイント～高速道路を安全に走行するために～

・わき見運転の防止

時速100kmで走行している自動車は、**1秒間に約28m**も進みます。高速道路では、ちょっとした脇見運転が追突や玉突き事故につながります。周りの景色や携帯電話、カーナビなどに気をとられないよう、前方を注視して運転しましょう。



・出発前には十分な点検・整備を！

夏場は故障トラブルが多くなる傾向があります。高速道路での自動車の故障の大半が、基本的な点検で防げるものです。主な原因は「**タイヤの破損**」、「**燃料切れ**」などが挙げられます。特に、燃料、タイヤ、オイル、冷却水の点検は、出発前に忘れず行いましょう。



・事故や故障でやむを得ず停車する場合は・・・

- ① **後続車へ合図**（ハザードランプ点灯、発炎筒着火、停止表示器材の設置）
- ② 安全な場所へ**避難**（**ガードレールの外側**などに避難）
- ③ 避難後、**通報**（110番、非常電話、#9910）

SA・PAにおける交通安全キャンペーンの実施について

夏の交通混雑期前に高速道路を安全にご利用いただくための啓発活動として、交通安全キャンペーンを関東支社管内のSA・PAで実施します。

【主なイベント】

- ・7/22(日) 10:30-11:30 友部SA[下り] 巡回車・パトカーの展示
- ・7/30(月) 10:00-11:30 高坂SA[下り] 巡回車・白バイ等の展示

その他のイベントについては弊社HP内にて公開しております。

URL : https://www.e-nexco.co.jp/road_info/important_info/h30/0706/



【報道関係者様のお問い合わせ先】

「NEXCO東日本関東支社」PR事務局（株式会社アンティル）担当：小幡・宮崎
TEL:03-5572-6063 FAX:03-6685-5265 E-mail: e-nexco_PR@vectorinc.co.jp